

総務文教委員会 現地視察

6月5日、人工芝グラウンド等が整備されリニューアルオープンした市営競技場を視察。まず担当職員から改めて工事、施設概要等の説明を求め人工芝の敷設等の確認を行ってまいりました。

公設グラウンドとして西多摩地域で初めて人工芝化した当競技場は、陸上競技(100m×6コースの直送路(全天候型舗装)、1周424メートルのジョギング走路(ゴムチップ舗装))、サッカー、アルティメット、ソフトボールなど各種競技が行えます。

また、熱中症対策のためのミスト噴霧装置、夜間照明を整備。付帯設備としては駐車場等の

充実が図られました。既設44台分に加え新たに30台分、多目的スペースも含めると92台分の駐車が可能。また駐輪場も54台分を新設。使用料は増額となったものの、更なる利用率拡大が見込まれると感じました。

さらに管理棟の改修工事も行われており、室内や外壁等の確認を行いました。

事務室、主催者控室、救護室、会議室、男女更衣室、授乳室、男女シャワー室(各5ブースうち車いす対応各1ブース)、トイレ等、バリアフリー化、衛生管理の観点からも改善が図られており、利用者の利便性拡大に努めたことを確認しました。

さて、当競技場は、福生市では初めてとなる

ネーミングライツ(命名権)協定が締結され、令和2年4月から市営競技場の愛称は『ネッツ多摩S&Dフィールド』となっています。期間は令和2年4月1日から令和5年3月31日までの3年間、命名権料(年額)100万円。

西多摩地域の新たなスポーツ文化の拠点としてより親しまれ市民の交流の場となるよう期待するとともに、更なる利用率の向上に向け議会としても支援していきたいと思えます。



▲ネッツ多摩S&Dフィールドを現地視察

横田基地対策特別委員会

6月12日に委員会が開催され4件の議題について審査しました。主な内容は次のとおりです。

1 令和元年度防衛補助事業等実施状況について

障害防止工事補助事業は、小学校の防音機能復旧(復機)事業など3事業を実施し、事業費3億2048万9千円、補助額1億99万4千円であった。

2 令和3年度防衛補助事業概要要望について

令和3年度防衛補助事業概要要望では、小中学校防音機能復旧(復機)事業6事業など全8事業を要望し、補助額の合計は、令和4年度の国庫債務負担行為分を含め7億1532万2千円を見込んでいる。

3 横田基地周辺対策等要望事項(案)について

4 横田基地に関する情報等について
①4月28日及び5月7日に、米軍の段階的移動制限計画の一環で、派遣前の経過観察のために横田基地に滞在し隔離を受けていた他基地所属の米海軍兵とそのサポートスタッフ少数名について、新型コロナウイルスの感染者が確認された。なお、米海軍兵及びサポートスタッフは、既に全員が横田基地を発っている。
②今年9月に予定されていた横田基地日米友好祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となった。
③5月30日頃から今年10月頃までの予定で、グロームホルーク6機と人員約80名が、横田基地に一時展開している。



▲防衛省本省へ要請(7月21日)

例年実施している防衛省本省及び北関東防衛局への要請行動について、7月21日に実施することを決定した。
要望項目は、基地運用の安全対策の徹底をはじめ、騒音防止対策の推進、市が概要要望している令和3年度防衛補助事業の採択など、全8項目である。

議会改革に関する協議会から～新たな取り組み～

『福生市議会災害対応方針』を策定しました

福生市議会では、今後、福生市において大地震等の大規模災害が発生した際に、災害対応方針に基づき、迅速かつ適切な対応を図ります。

～議員の役割(概要)～

地域における活動

参集指示があるまでは、地域において人命救助等の救援活動に積極的に参加し、市民の安全確保と応急対応に努めるなど、地域における活動に従事します。

連絡体制の確保

議会からの情報提供や参集指示に速やかに対応できるよう、連絡体制を確保します。

災害情報の収集・報告

地域活動等により、市が集めることができない地域の災害情報などを収集し、福生市議会議長を通して災害対策本部に報告します。

災害状況の把握

災害状況の把握に努め、今後の防災・減災対策に生かすことで、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることにつなげます。

訓練等の実施

災害発生時に適切な行動をとれるよう、日頃より災害対応に関する知識の習得や災害に備えた準備及び訓練に努めます。

SNSで議会の情報を発信しています!

Facebook



Twitter



今後も、より良い福生市議会を目指し、全議員で議会改革に関する様々な事項について協議してまいります。

7月6日に臨時委員会を開催し、7月2日に立川市内で発生した人員降下訓練中におけるパラシュートの落下事故について、在日米軍等に対し、安全確保及び再発防止等を文書により要請することを決定しました。
7月14日に臨時委員会を開催し、7月7日に市営牛浜駅西口自転車駐車場付近で発生した人員降下訓練中におけるフィン(足ヒレ)の落下事故について、原因究明、安全対策の徹底及び実効性の

新型コロナウイルス感染症 拡大防止に係る福生市議会の対応

令和2年第2回定例会は、新型コロナウイルス感染症対策を含む補正予算など重要事項の審議を最優先とし、次のとおり開催しました。

感染症拡大防止のため、日程を短縮しました

- ・会期を3日間に短縮し、一般質問の前に議案審議を行いました
- ・議案を本会議即決としました(陳情のみ委員会付託)
- ・一般質問の上限時間を短縮しました(60分→30分)

感染症予防策を講じました

- ・傍聴をご遠慮いただきました
- ・発言中のマスク着用を許可しました
- ・各階に消毒液を設置しました
- ・職員の出席を最小限にとどめました
- ・議場及び委員会室の窓や出入口を開放し換気に努めました



ある再発防止策等を求め、在日米軍等に対し、文書により強く抗議することなどを決定しました。(要請文及び抗議文をホームページに掲載)
7月27日に臨時委員会を開催し、「横田基地の基地機能強化に関する決議」を委員会提出議案として提出することを決定しました。(5面に掲載)

編集後記

当初の予定では、今年の夏に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されていましたが、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るっていることにより、東京2020オリンピック・パラリンピックのみならず、多くの催しが延期、中止となっております。福生市議会としては、3月議会同様、6月議会においても大幅な時間短縮に努めました。3月議会で中止とした一般質問は、各議員の持ち時間を60分から30分に短縮して行い、陳情以外の議案は委員会付託せず、すべて本会議即決で行ったことで大幅な時間短縮を図りました。

6月議会では、一般会計補正予算を審議し、事業継続応援金給付事業、ひとり親家庭等への臨時特別給付金給付事業、小中学校ICT推進事業などを可決しました。

また、7月27日には臨時会が開催され、追加の一般会計補正予算を審議しました。高齢者感染症対策事業(カテゴリーギフト配布)、子育て世帯応援キャッシュバック事業などを可決しました。

引き続き市民の暮らしに役立つ市政、市議会として邁進してまいります。